

# 令和8(2026)年度 事業計画



一般財団法人大阪府青少年活動財団

# I. 公益目的事業

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5, 10, 16, 17



## ユニバーサル事業の継続実施

現代の青少年が抱える課題解決に向けて、社会のニーズに応える公益性の高い、ユニバーサル事業を継続実施します。 →全3事業、定員延べ180名

## 既存事業にとらわれず、時代のニーズに沿った新たな公益目的事業を開発します。

補助金や助成金の獲得を目指し、社会の変化に合わせた公益性の高い事業を模索、創出します。  
また指定管理を受託した箕面市立教学の森野外センターにおいて、箕面市との連携を提案しながら、困難を抱える児童生徒を支援する事業を模索していきます。

## 青少年活動リーダーの育成を継続します

新人リーダーの一定数の確保を目指します。

年間11回の研修+3回の公開講座それぞれにSDGsの理念を導入し、社会貢献への意識付けを行います。

## Ⅱ. NOS/HRTプロジェクト事業

SDGsターゲット: 4, 17



### 1. NOS/HRT (ヒューマン・リレーション・トレーニング) プロジェクト推進事業

- (1) 学校・青少年団体等への体験活動の機会提供、および集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供
- (2) 企業等への組織づくり・コミュニケーション能力・リーダーシップ向上プログラムの提供
- (3) 学校クラブ(部活動)・地域スポーツチーム等への、チームづくり・リーダー育成プログラムの提供
- (4) 教育委員会との「教員研修」「初任者研修」「内定者研修」等での連携事業
- (5) 「出張対応」等での教育現場との連携事業
- (6) ネットやスマホの利活用を考えるセミナーやワークショップ、キャンプ事業での協働・連携
- (7) 地元・吉野町と連携した森林環境プログラムの検討
- (8) 「新しい生活様式」に対応した「人間関係づくり」プログラムの開発・導入

### 2. 野外活動指導者の養成

- (1) 機関連携での資格認定講習会の実施
- (2) 大学・専門学校等からの野外活動指導者資格取得講習を併用したNOS/HRT事業受託



# Ⅲ. 自然体験事業

SDGsターゲット: 3, 4, 14, 15, 17



## 1. 募集型企画事業の実施

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供します。
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドを舞台に事業を展開します。
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会を提供します。
  - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験を
  - ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動を
  - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動を
  - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む体験活動を
  - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流を促進する活動を
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会を提供します。
- (5) ひとつひとつの事業においてもSDGsターゲットを意識して立案、展開します。

## 2. 機関連携事業

- (1) 市町村主催のキャンプ事業の受託運営
- (2) 子ども会事業の受託運営
- (3) 講師派遣事業(自治体等公的機関、企業、大学・専門学校・高等学校他)
- (4) 青少年育成大阪府民会議への参画
- (5) 「こころの再生」府民運動への協力



# IV. 施設運営

SDGsターゲット:3, 4, 5, 10, 11, 12, 14, 15, 17



## I. 自主施設の運営

・吉野宮滝野外学校 第二期長期使用貸借契約10年間の7年目(通算17年目)

### ① 第二期貸借期間:7年目での運営の安定化と認知度の向上

- ・近隣地域、特に奈良県内の団体・学校への利用および連携の促進
- ・新規プログラム、フィールドの継続的開発
- ・町施策、地元周辺団体との連携、協働
- ・吉野町ビジターズビューローとの連携
- ・自然体験活動事業の展開
- ・地域に根ざした施設運営(地元米・野菜の使用、農の達人からの薪・クラフト材料調達 等)
- ・SDGsを意識した効率的な施設運営による経費節減
- ・勤務配置を柔軟にし、運営体制面での効率的な人員配置を目指します。



## ② 利用促進のための広報の充実

- ・ホームページ、フェイスブック、動画、ICT、新聞メディア等による情報発信をおこないます。
- ・「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとの連携、奈良県内学校団体等へのPRを発信します。

## ③ 施設の改善・環境整備

- ・経年劣化への早期対応を行います。
- ・中庭（炊さん場、樹木等）、HACCP法制化への対応を含めた厨房（設備、食器類、食材保管庫等）、居住（宿泊室、研修室等）各エリアの環境整備を行います。
- ・安全なプログラム実施のためのPAエレメントの整備及び移設等を行います。
- ・他の類似施設での事故事例を踏まえての安全対策の見直し（宿泊室2段ベッドの落下防止策等）を図ります。
- ・計画的、段階的なトイレの洋式化を実行します。
- ・計画的、段階的なLED照明への切り替えを実行します。
- ・地域消防や地元警察との連携強化や機械警備の導入によるセキュリティーの向上を継続して行います。
- ・害虫や害獣への予防と対策を実施します。

## 2. 指定管理施設の運営

SDGsターゲット:3, 4, 5, 10, 11, 12, 14, 15, 17

### 箕面市立青少年教学の森野外活動センター

(オルタナの森・Minoh) 第1期指定管理8年間のうち3年目



- ・前年の実績を継続し安定した施設運営で収益確保を図ります。
- ・企業や学校向けの団体向けプランを充実させることにより、平日利用率の向上を図り利用のムラを抑えていきます。
- ・インドアキャンプ1・2をペットプラン用に改修をおこない、ペット利用のニーズに応えます。
- ・焚火ができるサイトを増やして、利用者のニーズに応じていきます。
- ・昆虫に直接触れてもらえるスペースを作り、自然を大切にする意識の向上を図ります。



### 3. 共同指定管理施設の運営

## 大阪府立少年自然の家

第四期共同指定管理10年間のうち1年目

#### ・今期指定管理の主な提案事項

＜事業＞ 不登校等、課題を抱える青少年の支援事業を追加します。

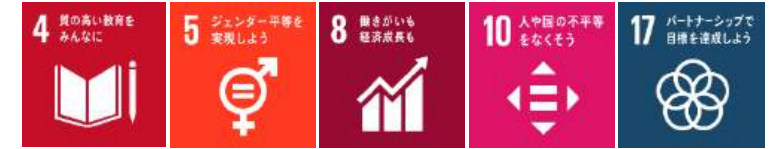
＜施設＞ 体育館に空調設備を設置し、夏冬を快適化と利用率の向上を目指します。

- ・学校団体、青少年団体、スポーツ団体などへの積極的な働きかけを行います。
- ・開設41年目になり目立ってきた施設内の老朽箇所の更新と、アンケート要望の多いトイレの洋式化など、府と連携し段階的に進めていきます。
- ・ホームページやSNSによる積極的な広報活用により、利用・事業ともに申込が増加しており、さらに注力していきます。
- ・2027年1月下旬～2月前半に受電設備の大規模改修のため休所を予定しています。



# V. 法人運営

SDGsターゲット:4, 5, 8, 10, 17



## 1. 理事会

(1) 第1回理事会(定時) 令和8(2026)年6月12日(金) 15時～

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 中会議室1

・令和7(2025)年度事業報告及び収支決算等

(2) 第2回理事会(定時) 令和9(2027)年3月

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和9(2027)年度事業計画及び収支予算等

## 2. 評議員会

(1) 第1回評議員会(定時) 令和8(2026)年6月23日(火) 10時30分～

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和7(2025)年度 収支決算等

(2) 第2回評議員会(定時) 令和9(2027)年3月

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和9(2027)年度事業計画及び収支予算等

### 3. 法人運営

- (1) 社会の変革に合わせた機構改革と職員個々の意識の改革を推進
- (2) 各種感染症、災害への対応を含めた危機管理やコンプライアンスの徹底などによる、  
リスクマネジメント力の強化
- (3) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (4) ガバナンスの徹底
- (5) 日本版DBS認定事業者の取得や公益法人制度改革への適応

## 4. 第四期中期経営計画の推進と見直し

### (1) SDGsを実践した法人運営

職員研修等を通じてSDGsへの理解をより一層深化し、同時に個々の職員の担当する業務へ反映させる道筋をつけ、持続可能な社会の実現に向けた法人運営を目指します。

### (2) 経営の健全化・安定化を目的とした効率化の推進と、収益の最大化

例：リモートを活用した会議や面談のより積極的な導入

ペーパーレス化のさらなる推進、業務システムの導入

### (3) 計画的な人員採用および育成、ならびに給与改定や資格取得推奨などによるキャリア形成の推進

### (4) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築ならびに福利厚生充実

### (5) 第四期中期経営計画の推進（経営企画会議での検討、実行を継続）

- ① 大阪府と協議のうえ策定した令和9年度までの収支計画に基づいた事業の立案、実行
- ② 人材の獲得と定着、事業改革、業務改革を推進
- ③ 事業企画室による新規事業の模索と営業戦略の策定及び実行

# 正味財産増減予算書

令和8年(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和8(2026)年度	令和7(2025)年度	増減(A-B)	令和8(2026)年度予算(内訳表)			
	当初予算(A)	当初予算(B)		実施事業(継続)	その他事業	法人会計	内部取引控除
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	634,000	634,000	0	0	0	634,000	0
基本財産受取利息	634,000	634,000	0	0	0	634,000	0
② 特定資産運用益	158,000	157,000	1,000	0	0	158,000	0
青少年基金利息	158,000	157,000	1,000	0	0	158,000	0
③ 受取会費	600,000	710,000	△ 110,000	300,000	300,000	0	0
受取賛助会費	300,000	410,000	△ 110,000	0	300,000	0	0
サポーターズクラブ会費	300,000	300,000	0	300,000	0	0	0
④ 事業収益	230,256,000	223,642,000	6,614,000	912,000	202,599,660	0	26,744,340
青少年自立支援事業収益	912,000	1,112,000	△ 200,000	912,000	0	0	0
青少年育成事業収益	140,860,000	111,472,000	29,388,000	0	119,732,000	0	21,128,000
機関連携事業収益	3,584,000	15,907,000	△ 12,323,000	0	3,584,000	0	0
市施設運営事業収益	65,100,000	41,497,000	23,603,000	0	59,483,660	0	5,616,340
府施設運営事業収益	19,800,000	53,654,000	△ 33,854,000	0	19,800,000	0	0
⑤ 受取補助金等	0	570,000	△ 570,000	0	0	0	0
受取国庫補助金収入	0	570,000	△ 570,000	0	0	0	0
⑥ 受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0
⑦ 雑収益	110,000	595,000	△ 485,000	0	10,000	100,000	0
受取利息	2,400	0	2,400	0	2,400	0	0
雑収益	107,600	595,000	△ 487,400	0	7,600	100,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>241,758,000</b>	<b>236,308,000</b>	<b>5,450,000</b>	<b>11,212,000</b>	<b>202,909,660</b>	<b>892,000</b>	<b>26,744,340</b>
(2) 経常費用							
① 事業費	228,894,368	226,111,900	2,782,468	10,737,649	191,412,379		26,744,340
報酬(理事)	9,499,200	9,126,000	373,200	0	9,499,200		
報酬	1,089,000	1,089,000	0	0	1,089,000		
給料	46,243,300	58,797,600	△ 12,554,300	2,925,000	43,318,300		
職員手当	22,839,749	21,310,500	1,529,249	975,000	21,864,749		
退職給付費用	685,000	765,000	△ 80,000	50,000	635,000		
共済費	13,862,858	14,620,500	△ 757,642	585,000	13,277,858		
福利厚生費	143,700	147,600	△ 3,900	0	143,700		
賃金	3,272,672	11,808,000	△ 8,535,328	0	3,272,672		
賃金共済費	98,200	1,649,000	△ 1,550,800	0	98,200		
報償費	7,667,253	9,367,000	△ 1,699,747	216,000	7,451,253		
旅費	6,573,477	7,385,300	△ 811,823	1,426,006	5,147,471		
消耗品費	9,748,717	4,204,500	5,544,217	263,080	7,031,997		2,453,640
印刷製本費	1,054,000	1,757,000	△ 703,000	7,000	1,047,000		
食料費	19,146,020	18,348,500	797,520	1,331,000	15,818,420		1,996,600
光熱水費	8,274,400	8,286,800	△ 12,400	0	8,274,400		
燃料費	407,000	484,000	△ 77,000	24,000	383,000		
修繕費	3,600,000	1,000,000	2,600,000	0	3,600,000		
通信運搬費	1,990,888	3,177,000	△ 1,186,112	46,248	1,944,640		
手数料	6,650,571	6,012,200	638,371	300	6,650,271		
保険料	1,470,098	1,261,100	208,998	63,199	1,406,899		
賃借料	48,518,368	29,003,400	19,514,968	2,675,816	23,548,452		22,294,100
委託料	3,174,000	2,903,000	271,000	0	3,174,000		
負担金	1,861,700	1,836,100	25,600	150,000	1,711,700		
原材料費	400,000	150,000	250,000	0	400,000		
公課費	9,391,619	9,570,600	△ 178,981	0	9,391,619		
雑費	0	0	0	0	0		
減価償却費	1,000,000	1,784,000	△ 784,000	0	1,000,000		
支払利息	232,578	268,200	△ 35,622	0	232,578		
② 管理費	2,863,632	2,573,100	290,532	0	0	2,863,632	0
報酬(理事)	652,800	678,000	△ 25,200			652,800	
報酬	121,000	121,000	0			121,000	
給料	970,200	722,400	247,800			970,200	
職員手当	212,054	158,500	53,554			212,054	
退職給付費用	15,000	10,000	5,000			15,000	
共済費	307,554	235,500	72,054			307,554	
福利厚生費	2,100	1,400	700			2,100	
賃金	0	0	0			0	
賃金共済費	0	0	0			0	
報償費	3,000	6,000	△ 3,000			3,000	
旅費	28,364	29,700	△ 1,336			28,364	
消耗品費	1,500	1,500	0			1,500	
印刷製本費	3,000	0	3,000			3,000	
食料費	500	500	0			500	
光熱水費	40,600	45,200	△ 4,600			40,600	
燃料費	0	0	0			0	
修繕費	0	0	0			0	
通信運搬費	2,600	0	2,600			2,600	
手数料	85,489	81,800	3,689			85,489	
保険料	19,150	22,900	△ 3,750			19,150	
賃借料	345,588	410,600	△ 65,012			345,588	
委託料	0	0	0			0	
負担金	5,300	4,900	400			5,300	
原材料費	0	0	0			0	
公課費	21,991	13,400	8,591			21,991	
雑費	0	0	0			0	
減価償却費	0	0	0			0	
支払利息	25,842	29,800	△ 3,958			25,842	
<b>経常費用計</b>	<b>231,758,000</b>	<b>228,685,000</b>	<b>3,073,000</b>	<b>10,737,649</b>	<b>191,412,379</b>	<b>2,863,632</b>	<b>26,744,340</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	10,000,000	7,623,000	2,377,000	474,351	11,497,281	△ 1,971,632	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>10,000,000</b>	<b>7,623,000</b>	<b>2,377,000</b>	<b>474,351</b>	<b>11,497,281</b>	<b>△ 1,971,632</b>	<b>0</b>
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>10,000,000</b>	<b>7,623,000</b>	<b>2,377,000</b>	<b>474,351</b>	<b>11,497,281</b>	<b>△ 1,971,632</b>	<b>0</b>
一般正味財産期首残高	17,852,337	10,229,337	7,623,000				
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>27,852,337</b>	<b>17,852,337</b>	<b>10,000,000</b>				
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	△ 10,000,000	0				
当期指定正味財産増減額	△ 10,000,000	△ 10,000,000	0				
指定正味財産期首残高	61,943,777	71,943,777	△ 10,000,000				
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>51,943,777</b>	<b>61,943,777</b>	<b>△ 10,000,000</b>				
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>79,796,114</b>	<b>79,796,114</b>	<b>△ 0</b>				